

荏原式オープンイノベーション(革新は研究所解散から始まった)
Ebara Open Innovation
(Innovation began with the dissolution of the laboratory)

辻村 学

Manabu Tsujimura

株式会社 荏原製作所 フェロー
Fellow, Ebara Corporation

日時: 2019年10月10日(木) 14:55-16:40
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

概要:

研究の危機、それは研究が事業と乖離し、研究効率が悪化し、そして滅亡(解散)の道を歩むことである。2009年、当時の研究所は重大な危機に瀕していた。危機を認識したらそれを正確に定義する。そして成長戦略を描き、その戦略に合うように組織を再構築する。これはビジネスの常道だが、これを研究に応用した。再構築できない場合には破壊(解散)も必要だ。当社は2009年、その解散の道を選んだ。

何故か？そしてその後当社はどのように研究を復活・再生させたのか？本講ではそれを事実と数字を用いて紹介する。2018年と2008年を比較すると、研究効率・成果は当時の2~5倍とKPIで評価できた。特許の申請数は5倍以上。ストレスチェックの結果からも研究と知財は当社トップランクに評価された。

更に本手法を発展させた形態(Enhanced Open Innovation)も紹介したい。



主催: 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム(GMSI)
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)
未来社会協創 国際卓越大学院(WINGS CFS)
本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之
GMSIプログラム事務局 E-mail: office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp Phone: 03-5841-7437